

## お釈迦様の誕生日

四月八日は、お釈迦様の誕生日、花祭りです。

四月八日は、お釈迦様の誕生日です。花祭り、誕生会、仏生会、龍華会、浴仏会などともいいます。美しい花で飾った「花御堂」が設けられ、右手で天を、左手で地を指した「誕生仏」が安置されます。誕生仏に「甘茶」がかけられます。その昔、釈尊の誕生



にあたって、九匹の龍が、清浄な香水や水を注いだという、故事や、天も大変喜びその時甘露の雨をお釈迦様に降り注いだといわれます。おそらく産湯のことでしょう。甘茶は、アマチャズルの葉を乾燥させて作ったものや、ユキノシタ科のヤマアジサイの一変種のもので山地に生えるが、長野、奈良、山口などの各県では栽培もされている。(寿楽院は、後者使用)



- ☆ 甘茶を子供の頭にかけると、丈夫に育つと信じられています。家中で飲んで延命息災を願います。
- ☆ 甘茶で墨をすり、「五大菩薩」と書いて、衣類箱に入れておくと、虫除けになると信じられています。
- ☆ 長柄の茶杓を龍に見立て、小さな誕生仏に甘茶を注ぎながら、仏恩に感謝し、子供の成長を祈る、そんな清らかなで美しい心の行事です。

## 掲示板

仲がいろいろなのは、喧嘩しないってことじゃない。どんなに喧嘩しても、仲直りできることだ。

仏教が生んだ日本語

## 邪魔 (じゃま)

「お邪魔虫」だの「邪魔だからどいてよ」というとき、邪魔は「余計なもの、目ざわり」といった意味である。魔はサンスクリット語「マール」の音写語「魔羅」の略で、人の命を奪い、善事を妨げるもの。本来、欲界の第六天という所に住んで、正しい教えを破壊する悪鬼神である。それが内省的に解されて、自己の内から生ずる障害をも指すようになった。邪魔はその上に邪を加えた語である。勉強にあきて遊びたくなるのも邪魔のしわざである。

## 空海の言葉 シリーズ

まつがく たいこ しょうしつ かく  
末学、大虚を小室に逃す

「秘密曼荼羅十住心論」

●●● 未熟な、学問の者は、  
大きな丘を小さな部屋に閉じ込める

目立たないところで働かされていたN君は、不満も言わず、黙って研鑽を積んでいた。会社がいよいよ不況になり、会長も社長の交代を指名したが、みんな尻込みして誰も社長を引き受けません。会長に嫌われていたN君は、仕方なく社長を引き受け、それまで蓄積してきたノウハウを大いに活かして、今では会社が始まって以来、初めて黒字を出し続けているのです。

末学だった会長は、何十年間もN君という大きな丘を、小室に閉じ込めてきたのです。

